



高分解能質量分析装置

次世代の新製品・新技術の開発拠点

一般には瞬間接着剤「アロンアルファ」で知られ、苛性ソーダ、塩化ビニル樹脂などの素材型製品から、建材、高分子凝集剤、アクリル系ポリマーなどのスペシャリティケミカル製品、さらにはバイオ農業まで幅広く活躍する東亜合成化学工業(株)。同社のルーツをたどると、福沢桃介が設立に尽力した矢作水力(株)が、余剰電力を硫酸や硝酸の製造に利用するために創立した矢作工業(株)が前身というから、中部電力とは浅からぬ関係にあるといえる。

つくば研究所は、同社の新しい研究活動の拠点として、東京大学応用微生物研究所で抗生物質や抗癌剤の研究に携わられた鈴木日出夫博士を所長に迎え、平成3年6月に創立された。

テーマはバイオサイエンスと高機能材料

研究所の研究部門は大きく2つに分かれる。1つは同社にとって新領域となる医療関連への進出を目的としたバイオサイエンス研究部で、テーマはバイオテクノロジーを駆使した抗癌剤や診断薬の開発だという。

他方の応用研究部では、新規の有機ケイ素化合物や新しい重合法を用いた機能性高分子、その他新素材の開発研究を行っている。

●研究所の概要

1. 研究所の規模

敷地面積 33,784㎡
建地面積 6,018㎡
研究所員 50名
創立年月 平成3年6月

2. 組織

所長 ——— バイオサイエンス研究部
 — 応用研究部
 — 総務室



ゆったりとした研究室。左手に並ぶドアの奥に実験室がある。



サークル室



研究所外観

MEMO

筑波研究学園都市は、高エネルギー物理学研究所などのような見学可能な機関もあり、研究者ならずとも一見の価値あり。また、車で20分ほどの所に筑波山があり、ケーブルカーやロープウェイで山頂へ登ると360度のパノラマが楽しめる。



筑波山名物の油



筑波山神社

研究紹介

つくば研究所

東亜合成化学工業株式会社

未知の領域をひらくテクノフロンティア

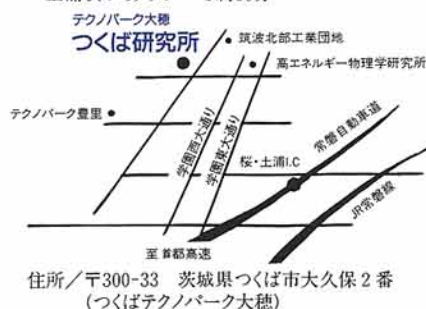
恵まれた環境と充実した施設

同研究所の最大の特色は、筑波研究学園都市という周辺環境に恵まれていること。多数の国公立研究機関、先進技術を中心とした民間企業が集中し、研究情報等には事欠かない。また、外部研究機関との交流を通して、共同研究、共同開発にも積極的だそう。

加えて、施設・設備も充実。クリーンルームや先進の各種研究装置を備え、室内空間には充分なゆとりがある。将来的には各デスクに端末装置を設け、様々なデータが引き出せる所内LANを導入予定だという。その他にも、視聴覚機器の整った講堂、パーティなど所員の交流や寛ぎの場として使われるサークル室、屋外テニスコートなども完備され、自由な雰囲気の中で研究活動が行われていた。

■研究所への交通案内

JR常磐線上野から特急で土浦駅まで48分
土浦駅からタクシーで約30分



住所/〒300-33 茨城県つくば市大久保2番
(つくばテクノパーク大棟)

研究所のお問い合わせは…TEL(0298)65-2600 総務室 岩田氏まで